transnational ノート

松　本　誠　一

1．はじめに

私たちの共同研究プロジェクトの課題には「地域間比較の定礎に向けて」という副題を添えてある。「トランスナショナル」の用語を採択するにあたって，その語義を明らかにしておくことも定礎作業の一部である。本稿の内容は，共同研究を開始する際に，簡単に言及したものであるが，きちんとスペースを取って文章化して残してはいなかった。この３年余の間，このトランスナショナルという語を念頭に置きつつ，その概念の可能性をあれこれ愚考してきて，認識を新たにした部分もあるので，改めてここに起稿する。

近年，「トランスナショナル」「トランスナショナリティ」のカタカナ語をよく見かけるようになっている。しかし，まだ辞書には見えない場合もあり，その意味がよく理解されないでいる場合も多いだろう。筆者とて十二分に理解したうえで使ってきたわけでもない。そこで，ここではこの語の意味について，まず辞書（Oxford English Dictionary: OED）の用例説明を確かめ，次いでそこにない用例を挙げて，新しい意味について小考を加える。

2．OED

今や，OED はオンライン版で最新の説明を見ることができるが，無料ではない。利用申込すると，月払いか年払いかの使用料が発生するので，参照していない。iPhone で使える有料版もあるが，用例が少ない。本稿では東洋大学白山図書館に架蔵されている全20巻の1989年版を基にした。丸善オンラインストアで見ると，印刷版は1989年版が売られているので，より新しい版を求めて他館に行かなくても良かった。以下，誤訳している個所もあるだろうが，指正をお願いしたい。

【原文と訳註（暫定）】

trans'national, *a.* *(sb.)* [f. TRANS- 3, 4 + NATIONAL *a.*] Extending or having interests extending beyond national bounds or frontiers; multinational. Also *ellipt.* as *sb.*, a transnational company.

トランスナショナル　形容詞　*(sb.)*〔sb.=substantive 実（名）詞，名詞（相当語句）〕［TRANS-3, 4 + NATIONAL 形容詞］〔注：トランスは「越えて」「横切って」「貫いて」「通って」「完全に」「他の側に」「別の状態（場所）へ」「の向う側の」「超越して」などの意味を示す接頭語〕 **国境や国境地方を越えて拡張する関心をもつこと，拡張すること。多国籍。**sb. トランスナショナル・カンパニーとしての省略法も。

この説明は「膨張主義」「帝国主義」を連想させる。しかし，下のいくつかの用例では，単に拡

張主義とは思えない意味のものが含まれている。

ちなみに, COD（Concise Oxford Dictionary）では‘extending beyond national boundaries’（国境を越えて拡張すること）とのみ説明している。

1921　N. ANGELL. *Fruits of Victory* ii. 63.

Much of Europe lives by virtue of an international, or more correctly, a transnational economy.

N. エンジェル[1]『勝利の果実――「偉大な幻想」の続き（The fruits of victory: a sequel to “The great illusion”）』ii 63.

欧州の多くは国際経済，より正しくはトランスナショナル経済によって暮らしている。

近代国民国家が成立して，国家を単位とする経済圏が構築されるが，ヨーロッパでは経済活動はすぐ国境を超える。インターナショナル・エコノミー（国際経済）は国家の枠組みに根拠した経済であるが，トランスナショナル経済（国家を超えた経済）が実態としてある。本書が発行された前年，1920年に国際連盟が発足している。

ヨーロッパの中でも経済の先進国と後進国を分けたとき，先進国経済が後進国に拡張していくという例があろう。それを捉えれば，ここでのトランスナショナル経済は拡張主義の経済とも解することができる。

ところで，人類学者，ロバート・トーマス・アンダーソンによる『近代ヨーロッパ――人類学的展望』[2]（1973）が示すヨーロッパ像によると，王制時代（農民社会の時代）もヨーロッパでは国々にまたがって通じる貴族文化・商人文化・農民文化があった。ロシア貴族が冬にパリの社交界に行くというような，文学作品でおなじみの世界である。この時代は他国に行くことより身分階級ごとの差を超えるほうが難しかったであろう。しかし，フランクフルトのゲットーから出て，ロスチャイルド家が成功を収め，ワーテルローの戦い（1815年）以前には，ナポレオン側とその敵側の双方の国に戦争資金・武器を融通して重きをなして行った。19世紀以前の例文が OED になく，最初の例文が1921年のものであるという点に注目しておく。

欧州共同体への統合の動きは，民族自治・民族独立の流れとは反対の方向へ流れているが，基層文化に近代以前から共有されていた文化があったという基盤の上に欧州共同体が実現しているとすれば，アジアでどうであるか。農民社会の時代から，行ったり来たりしていた色々な身分階級の文化を明らかにすることが「東アジア共同体」「アジア共同体」を具体的に構想する呼び水となりはしないか。

1941　J. S. HUXLEY *On living in Revolution*（1944）144.

The outstanding case of what we may call a transnational natural region - an industrial area cutting right across national boundaries - is the great concentration of industry in North-Western Europe.

J. S. ハックスリー[3]『革命に生きて（On living in a revolution）』（1944）144.

われわれがトランスナショナル自然地域―国境を横切る工業地域―と呼ぶ顕著な事例は北西ヨーロッパにおける工業の大集積である。

自然地域と訳した natural region とは，自然環境・自然領域などとも訳されている。自然地理上の景観などの特徴が他とは異なっており，それが続いている範囲の地域。たとえばサハラ砂漠は一つの自然地域であるが，そこには国境がいくつもある。ヨーロッパにもそうした自然地域があり，

またドイツ・フランス・ベルギー・ルクセンブルグなどにまたがる工鉱業地帯がある。独仏間でそこの領土を奪い合ったことはよく知られている。

1941　J. MACMURRAY *Challenge to Churches* 59.

The Christian religion is the only possible force which can conceivably create the condition of a transnational, non-racial democratic polity.

J. マクマレー[4]『教会への挑戦――宗教と民主主義（A Challenge to the Churches: Religion and Democracy)』1941

キリスト教は，トランスナショナルな，非人種的・民主的政治形態（国家）の状態を創り出しうる唯一の可能性ある力である。

仏教やイスラム教という世界宗教もキリスト教と同様に多国にまたがり，多民族を懐いているが，キリスト教とは異なって民主的政治形態をもたらしていないという見解がこの人にはあるのであろうか。

この用例では，宗教活動のセンターがあって，その活動が国境を越えて拡張していくという意味が強くあると感じられる。

1956　P. C. JESSUP *Transnational Law* i. 2.

I shall use, instead of 'international law', the term 'transnational law' to include all law which regulates actions or events that transcend national frontiers.

P. C. ジェサップ[5]『トランスナショナル法（Transnational Law)』1956

わたしは今後，国境を越えた行為・事件を規制するすべての法を，「国際法」という語の代わりに「トランスナショナル法」の語を用いる。

「トランスナショナル法」をキーワードとして情報検索すると，国内の多くの大学でこの語を掲げた授業科目・プログラムが見つかる。トランスナショナル・デモクラシー，トランスナショナル法政策，トランスナショナル関係論等々，多様な語が使用されている。分野違いとは言え，この現状は未知であった。

ここでの「トランスナショナル」には必ずしも拡張主義のような意味はこもっていない。「複数の国にまたがる」という意味の方が前面に浮かび上がる。

1968　*Economist* 13 July 65/2.

To these three [sc. the ethnocentric, the polycentric, and the geocentric types of multi-national company], Professor Galbraith has added a fourth type, the transnational company, with international stock ownership.

『エコノミスト』1968年７月13日号

ガルブレイス教授はこれら三つ（民族中心的，多中心的，地球中心的という多国籍企業のタイプ）に対して第４のタイプ，国際的に財産を所有するトランスナショナル企業を加えた。

ここでのトランスナショナル企業は多国籍企業と訳されるであろう。

transnational company, transnational corporation を「多国籍企業」と訳すことは定着しているようであるが，それぞれの国で現地法人化していれば，そうであろう。その国での企業活動に現地

法人化しなくてはならない規制があってそうなっているとすれば，その規制が緩まり，現地法人である必要がなくなったとき，多国籍企業とは言えない実態も現れ得る。しかし，そこにトランスナショナルな側面は，なお残るであろう。単に国籍だけの問題ではなくなってくる。

1973 *Reader's Digest* Apr., 167./1.

Terrorism..is 'transnational' in scope - that is, there is a kind of global brotherhood of terrorists who share basic beliefs and techniques.

『リーダーズダイジェスト』1973年４月号

テロリズムは.. 管見では「トランスナショナル」である。すなわち，基本的な信念と戦い方を共有するテロリストたちのグローバルな兄弟関係がある。

テロの戦い方は銃撃，刃物による殺傷，爆破，自爆，毒殺等，似通ったものがある。警察権・軍隊が国家に属している以上，これへの対応は国家的なものであったが，アメリカの対テロ作戦に見られるように，多国にまたがる対応，関係国の国内法を超えたような対応となっている。

1977 *Irish Democrat* Mar. 3/5.

The Brussels dictators would probably just tolerate a secession provided the transnationals continued to rule the roost economically.

『アイルランド民主党（民主主義)』1977年３月号

ブリュッセルの執政者たちは，ねぐらを経済的に支配し続けたトランスナショナル人（企業）に，多分離脱を容認するだろう。

Irish Democrat はロンドンで発行されている，アイルランドの統一と独立をキャンペーンする新聞（ISSN 0021-1125）である。

この例文は何を言わんとしているか，明らかでない。1977年という年代とブリュッセルから，dictators とは欧州諸共同体の指導者のことであろうか。1967年に欧州原子力共同体・欧州石炭鉄鋼共同体・欧州経済共同体が欧州諸共同体として統合され，これは2009年から欧州連合が発効することへとつながる。

この用例と次の用例で '(the) transnationals' が共通する。これは新しい用例と言えるものだろうか。個人とすれば，'transnational actor' と重なってくる。actor が意図をもった行為者であるとすれば，transnationals の方は無自覚に行動している者も含めうる。それであれば，'transnationals' と 'transnational actor' とは，意味は少しずれる。

冒頭に引用・訳した通り，transnational に「トランスナショナル・カンパニーとしての省略法」もあるとすれば，この transnationals の用例ではトランスナショナル企業とも解することができる。

1980 *Telegraph* (Brisbane) 5 Sept. 2/2.

Now that multinational has become a dirty word, .. multinationals are .. known as transnationals.

『電信（ブリスベン)』1980年９月５日号

今やあの多国籍企業は汚い語になってしまった.. 多国籍企業は.. トランスナショナル企業として知られている。

ブリスベンはオーストラリアの大都市である。

1983　*Church Times* 6 May 10/4.
It will fall to your lot to assess the transnational corporations .. and see whether in fact they do promote Third World development.
『教会時代』1983年5月6日号
トランスナショナル企業を評価することがあなたの役割となるだろう。実際に第三世界の発展を促進しているか否かを見よ。

ここでも「多国籍企業」と訳せるが，上述の1968年用例の個所で記した注釈と同じにつき，ここでの注釈は省略。
宗教団体がトランスナショナルに拡張していく動きは活発である。

3．販売中の洋図書名から拾った語句例

以下は，某洋書取次店の最近カタログから拾い出した語句である。

transnational actors
transnational corporations
これは上でも触れた語句である。とくにここで加える説明はない。

transnational crimes
transnational gangs
麻薬，ニセ札，集団窃盗などの事件が頻発しているのは，報道の通り。

transnational digital government research
Transnational English Database（TED）
インターネットを用いれば，世界のどこからでも情報を集めてくることができる。とくに，アップル＝ソフトバンクの iPhone，iPad や他社のスマートフォンでは携帯でインターネットがノートPC よりはるかに速く手軽に，インターネットができる。身体は国内から出なくても，情報はトランスナショナルに行き交う。
国家は国境の枠内の行政にとどまる。他国内にまで行政を及ぼすと，内政干渉となる。しかし，NGO，NPO は国境を越えて活動する。

transnational families
transnational mother: mothering from a Distance
transnational parenting
「トランスナショナル・マザー」や「トランスナショナル親業」は母子，あるいは親子が国を隔てて，関係を保っている，保とうとしている実態を表している。「トランスナショナル家族」の方は，そういう場合も含むが，①家族員みな同居しているけれど，それぞれ国籍が違ったり，重国籍者がいたりという国籍複数状況，②国際結婚で配偶者が帰化して，国籍は同じだが，文化的同化が進行中，あるいは葛藤があったりという場合，等々もあろう。

transnational feminism

トランスナショナル・フェミニズムは上のトランスナショナル・マザーとも関係する。フィリピン女性の海外出稼ぎ例がよく知られているが，自分の子をフィリピンに残して，英語圏の先進国などで家事労働・ベビーシッターに従事する場合，先進国女性は家事労働・子育てが軽減され，家から社会に出て活動し，フェミニズムの欲求がかなえられるが，フィリピン親子の犠牲の上に成り立っている，という批判的指摘がある。

transnational professionals

芸術家・スポーツマンを含め，国境を跨いで活躍する専門職は多い。

4．おわりに

以上を通じて，まとめてみると，transnational の語は20世紀からの語で，当初は政治・経済・宗教などの国境を越えた拡張，拡張主義に対して用いられていたのが，近年はグローバル化の状況の中での個人や家族の生活展開における動き（国境を跨いだ生活）に対して用いられるように変わって来ていると言えよう。

注

(1) ラルフ・ノーマン・エンジェル。Ralph Norman Angell. 生没年月日：1872年12月26日－1967年10月７日。1931年にナイト受爵。1933年ノーベル平和賞受賞。『勝利の果実』は経済史，第１次大戦を扱う。邦訳書として，安部磯雄訳（ノルマン・エンセル）『現代戦争論』1912，ハロルド・ライトとの共著，川上賢叟訳（ノーマン・エンゼル）『はたして国家は失業を匡救し得るや』1932，浜田久米夫訳『戦争は引合ふか？』1937などがある。

(2) *Modern Europe: An Anthropological Perspective*, Goodyear Regional Anthropology Series, Pacific Palisades, California: Goodyear publishing Conpany, 1973.

(3) ジュリアン・ソレル・ハックスリー（ハックスレー，ハクスレイ） Julian Sorell Huxley. 1887年６月22日－1975年２月14日。英国の進化生物学者。ユネスコ初代事務局長など。邦訳書：日本学術振興会訳『科学と社会』1937，丘英通訳『死とは何か，その他』1938，内田亨・小山東一訳『蟻』1940，酒井善孝訳『アフリカ紀行』1942，上田康一訳『ユネスコの目的と哲学』1950，ほか多数。

(4) ジョン・マクマレー（マクマリー） John Macmurray. 1891年２月16日－1976年６月21日。スコットランド生まれ。哲学者。英国の政治・宗教・教育にも影響を及ぼす。邦訳書：堀秀彦訳『知識の論理』1940，同訳『近代精神の形成』1940，（マクマレー編著）同訳『近代精神』1946，同訳『近代世界に於ける自由』1946，谷口隆之助訳『人間関係の構造と宗教』1965。

(5) フィリップ・キャリル・ジェサップ。Philip Caryl Jessup. 1897年１月５日－1986年１月31日。ニューヨーク生まれの外交官，学者，法律家。ジェサップを記念するジェサップ国際法模擬裁判が行なわれている。日本国内では日本国際法学生協会が主催。国内で勝ち抜いて日本代表になると，国際法学生連盟主催・アメリカ国際法学会後援の同模擬裁判に参加する。邦訳書：落合淳隆訳『現代の国際法——入門』1972。邦訳はないが，『国家の誕生』1974などの著書がある。